

博多祇園山笠振興会

博多祇園山笠初の公式キャラクター誕生 祭りの魅力発信が使命

博多祇園山笠振興会は、福岡県を代表する祭り「博多祇園山笠」の魅力をもっと広く発信するため、公式キャラクターを制作し、この度、登録商標を取得しました。同振興会が公式キャラクターを発表するのは初めてです。

博多弁の語尾「～たい」＝「鯛」をモチーフにしたキャラクター

本キャラクターは、「博多の祭りは山笠たい!」「とんこつラーメンが好いとーったい!」など博多弁の語尾に付ける「～たい」にちなみ、また、神事によく使われ、櫛田神社の夫婦恵比須大祭でも披露されるおめでたいイメージから、さかなの「鯛」をモチーフにしています。

キャラクターの総称は「博多^{はかた} 祝めで鯛^{いわい たい}」です。博多のハレの舞台で歌われる祝い唄「祝いめでた」をイメージさせ、縁起の良さ、親しみやすさを感じていただけるはずです。

「おいさ、と「きおい、が博多の祭りを応援します!

「博多^{はかた} 祝めで鯛^{いわい たい}」には男女のキャラクターがいます。男性の名前は「おいさ (雄伊沙)」で、山笠で速く走るときの掛け声「おいっさ」から名付けました。「雄」は「雄々しい」から、「伊」は「治める人」を意味し、一説に「祝いめでた、がお伊勢参りで歌われていた歌に由来したことにもちなみしました。「沙」は「砂、や「水中でより分けて悪いものを捨てる、という意味から選んでいます。

女性の名前は「きおい (貴緒衣)」。山笠と昇き手を清める「勢水」から名付けました。漢字は貴婦人の「貴」、長く続いた物事のつながり、を意味し伝統を感じさせる「緒」、そして、ファッションを象徴する「衣」。男性的な山笠用語ながら、美しく愛らしい印象を目指しました。

祭りの守り神に遣わされ、人知を超えた力を発揮する「精霊」

おいさときおいは、約775年前から福岡市博多区・櫛田神社付近に住まう精霊です。祭りの守り神から遣わされました。温和で友好的ですが、山笠の時期には熱気に満ちて、人知を超えたパワーを発揮。人手の少なくなった流に加勢するなど神の使者として働きます。また、博多や祭りを愛する人に見えるという不思議な特性も。山笠と同様に陰陽の思想を体現しており、おいさはウロコなどの数が奇数、きおいは偶数という特徴があります。また、疲れても勢水や櫛田神社境内の御神水を飲めば復活します。

山笠や博多地区、そして福岡市の魅力発信大使として

「博多^{はかた} 祝めで鯛^{いわい たい}」おいさ、と「きおい、は、今後、博多祇園山笠の PR のために、さまざまな場面で登場する予定です。また、祭りだけでなく、山笠の本拠地である博多地区、ひいては福岡市の魅力発信に役立ってほしいと願っています。

本キャラクターの管理は、制作を手掛けた西日本新聞トップクリエイションが行います。

博多祇園山笠振興会

【公式キャラクター名】

はか た いわい たい
博多 祝めで鯛

おいさ (雄伊沙) 〈男性的な精霊〉

きおい (貴緒衣) 〈女性的な精霊〉



博多祇園山笠公式キャラクター

博多 祝めで鯛®